

シミンのジリツを支援するNPO法人

シミンズシーズ

年次報告書 2018



シミンズシーズ 2018 年度年次報告書

発行元／問い合わせ先

NPO法人 **シミンズシーズ**

〒675-0065 兵庫県加古川市 加古川町 篠原町 111 番地

Tel : 079-422-0402 Fax : 079-421-0407 Mail : info@npo-seeds.jp Web : www.npo-seeds.jp



2018年度活動報告



もくじ

P.02 シーズについて

P.04 2018年度 スタッフ

P.06 2018年度 ハイライト

P.07 事業報告…個人のジリツ

P.08 事業報告…市民のジリツ

P.11 事業報告…地域のジリツ

P.13 事業報告…団体のジリツ

P.15 事業報告…法人運営

P.17 講師派遣一覧

P.18 決算報告

P.19 2018年度のお礼

P.20 2019年度事業計画

Vision

誰もが「市民」という役割をたのしめる社会へ

Mission

シミズの自律と自立を支援する

Service

" たのしい " のプロデュース

- 市民参加の企画・プロデュース
 - チームブランディングプログラムの提供
 - コミュニティプランニング
 - ファシリテーション
 - コミュニケーションデザイン
- など

人のいるあらゆる場所、場面で、「自分でつくる」ことへの働きかけを企画するのが私たちの仕事です

Field

シミズシーズはシミズの自律と自立を支援する5つの事業を展開しています。シミズのいるあらゆるフィールドが、私たちの活動領域です。

2 市民のジリツを支援する
プロデュース/ネットワーキング事業

Field 2 citizenship

市民1人ひとりの力をいかして「参加できる場」をつくる様々な企画事業を展開しています。「県立東播磨生活創造センター『かこむ』」は開設当初から運営に携わり、指定管理者としては丸10年が経過しました。

4 団体のジリツを支援する
NPO等支援事業

Field 4 organization

自律的にスタッフが運営に携わり、チームとして1つになれるよう、チームづくり、理念づくり等の研修プログラムを提供しているほか、NPO等の設立運営相談やネットワーク化など、NPOや社会的活動のサポートを行っています。

1 個人のジリツを支援する
人材育成事業

Field 1 person

学校での参加型プログラム、インターンシップの受け入れを通じて、これからの地域や社会に関わる上で必要な、自ら考え行動する力をつけるための「学びの機会」を提供しています。

3 地域のジリツを支援する
コミュニティ創造事業

Field 3 local community

さまざまな主体が、地域の問題解決に向けて「自分ごと」として取り組める「しかけ」をつくることを通じて、東播磨地域を中心に、地域住民中心の地域づくり、コミュニティづくりを行っています。

5 すべてのジリツを支援する
環境整備事業

Field 5 environment

ジリツのための環境や制度をととのえていくための、調査研究や政策提言、各種講師・ファシリテーター・委員等の派遣を行います。2018年度は講師や委員としてのご依頼が増え、取り組みを紹介する機会が多くなりました。

私たちは、
誰もが感じる「たのしい」という気持ちを
大切にしています

シミズシーズのビジョンにある「『市民』という役割」とは、一人ひとりの「社会への関わり方」と言い換えることができます。

様々な課題が溢れる社会において、市民の社会への関わり方＝「責任」が問われています。しかし、この状況を「責任」と捉え、動きだす人はそう多くいるとは言えません。

私たちは別のアプローチで社会への関わり方を作りだしていけるのではと考えています。それが、一人ひとりが抱く「たのしい」と感じる気持ちです。

人が「たのしい」と感じることはまさに主体的なものであり、その瞬間や場面、感じる対象などは様々です。ゆえに、そのエネルギーが社会に顕在化するには時間がかかり、強大な影響力は保証できるものでもありません。

しかし、そのエネルギーは、責任を押し付けることだけでは発揮しえない持続力や求心力を備えています。社会への関わり方としてこのような力が求められているのではないかと思うのです。

シミズシーズは、地域や社会を「自分でつくる」ことで得られる「たのしい」を見出すために、様々なフィールドにおいて、一人ひとりの思いを尊重し活動しています。

社会の一員として参画することって「たのしい」。

自らの手で地域をつくることって「たのしい」。

これらの「たのしい」から人はあらゆる場面で「自分ごと」となり、ジリツした市民として主体的に社会に関わっていくと考えています。

社会には、たくさんの「たのしい」が眠っています。

「誰もが『市民』という役割を楽しめる社会」に向け、シミズシーズは「たのしい」をプロデュースし続けます。

2019年度スタッフ



代表理事
田中 茂 (しげるちゃん)



代表理事
柏木 登起 (ときちゃん)



マネージャー・理事
木上 裕貴 (きがみん)



事務局長・理事
阪口 努 (つとむん)



コーディネーター
一川 有希 (いっちゃん)



コーディネーター
大浜 伸人 (はまっち)



コーディネーター
津久井 あゆみ (つくしちゃん)



コーディネーター
長峰 謙 (けんけん)



マネージャー
小笹 雄一郎 (おざりん)



事務局長・理事
柏木 輝恵 (きえちゃん)



コーディネーター
太田 めぐみ (めぐちゃん)



コーディネーター
森田 久子 (チャコちゃん)



コーディネーター
金谷 ひふ美 (かなっP)



コーディネーター
日阪 美輪 (みわちゃん)



コーディネーター
宮本 絵里子 (えりちゃん)



コーディネーター
谷原 葵 (あおいちゃん)

祝! 卒業!

2019年3月をもって西尾泉は結婚のため、中塚武も次のステージに進むため卒業しました。新しいメンバーも加わり、新体制で2019年度の運営をしていきます。

新しいメンバーへ
パトタッチ☆



コーディネーター
岡部 友香理 (おかちゃん)



総務
吉田 加奈子 (よっしー)



サポータースタッフ
長澤 潤一郎 (じゅんじゅん)



個人のジリツ

学校への参加型プログラムの提供事業

DATA

兵庫県立農業高等学校定時制課程

2年	生き方みち図鑑	7回
4年	シミンのジリツ講座	6回

兵庫県立明石清水高等学校

2年	くらしと環境	2回
3年	コミュニティ創造	3回

兵庫県立農業大学校

1年	キャリアデザイン	3回
----	----------	----

卒業の先を見据えて

今年度からは兵庫県立農業大学校での「キャリアデザイン」の授業がスタートしました。生き方・働き方が多様になるなか、これから社会に出ていく生徒たちは、社会への視野を広げ、自らの意思で選択していく力を身につけていくことがますます必要になっていきます。

当法人が実施する授業プログラムやインターンシップは、いずれの授業でも共通して「自らと向き合う」「他者の話から視野を広げる」「卒業や体験の先につなげる」ということを意識して組み立てます。例えば、農業大学校での「キャリアデザイン」の授業では、ワークシートでこれまでの自分を振り返

り、他の生徒に話してフィードバックをもらう形式を多く取り入れ、卒業後を見据え大学生生活をどう過ごすかを考える時間になりました。インターンシップでは、当法人が指定管理運営する公共施設を中心に、スタッフやボランティア、利用者等地域の大人と触れ合うなかで視野を広げつつ、自分の得意や興味を活かしながら自分が貢献できることは何かを考えてもらう機会を設けました。普段とは異なる大人と出会う機会だからこそ、1人ひとりが個々の人生や社会への興味をもつことのできる時間を今後も続けていきたいと考えています。

文・柏木輝恵(きえちゃん)

インターン受け入れ実績

兵庫県立明石清水高等学校
国立明石工業高等専門学校
神戸学院大学
など



インターンシップの受け入れ人数は今年度26名!

担当のつぶやき



メインスタッフ…きえちゃん

自分が生徒だったときに受けたかった!と思うような授業にしたいと思っています。みなさんの変化や成長を見られることが嬉しいです!



メインスタッフ…あおいちゃん

学生たちからの学びがたっくさん!

2018年度
シミンズシーズ
ハイライト

2018年度にシーズで起きた出来事を5つのトピックスにまとめました♪

1 プラットフォーム型組織
に向けて

4月には(一財)明石コミュニティ創造協会の運営支援を担当していた柏木登起・木上裕貴が転籍出向という形に関わり方を変え、東播磨生活創造センター「かこむ」の運営においても、BAN-BAN ネットワークス(株)との共同事業体として運営する形に変更。2月には加古川のまちづくりに特化した事業を行う組織として(株)加古川まちづくり舎を立ち上げました。これらは、プラットフォーム型・ネットワーク型組織としての運営を具現化するひとつの取組みです。社会的な価値を創造する機能と、具体的な事業を展開する機能を組織的に使い分けるグループ組織を目指していきたいと考えています。

2 共同事業体としての
「かこむ」運営が開始

かこむの指定管理者事業が4期目に入り、地元メディアのBAN-BAN ネットワークス(株)との共同事業体としての運営が始まりました。当法人の持つネットワーク機能とメディアの持つ情報の受発信機能を掛け合わせ、新たな「充実」を目指します。



3 東播磨暮らしを楽しむ
「東ハリマくらし学校」
スタート

生活創造活動の裾野を広げる取組みの一環としてスタートしました。お披露目会として開催したオープンスクールでは、多くの方に参加していただきました。暮らしを楽しみ、つながりが広がる楽しさを感じてもらえる機会となりました! 2019年度は公募講座の開始など、本格的に始動します。



4 兵庫県地域創生ユース
チーム運営事業、
企画実施へ!

2017年度より継続して兵庫県地域創生ユースチーム運営事業を実施しました。今年度は若者目線で企画した地域創生企画を兵庫県内各地で実施し、活動成果を発表しました。シーズは、その事務局として会の進行やグループ活動支援、活動内容をまとめた活動報告冊子を行いました!



5 ビジョン・ミッション
構築プログラムを助成

今年度、クリエイティブをNPO団体に助成するプログラム「SOCIAL SHIP」に、ブランディング助成団体として参加。

1団体に、ビジョン・ミッション構築のワークショッププログラムを助成しました。その他も合わせて、今年度は計4団体の理念づくりに携わりました。



「東播磨暮らしを楽しむ」を広げる施設へ

兵庫県立東播磨生活創造センター「かこむ」指定管理運営事業

指定管理運営第4期目の1年目となる2018年度は、有料施設年間稼働率71.2%と、過去最高を記録しました。

次年度から本格運営する「東ハリマくらし学校」の準備期間として、授業を体験してもらう「オープンスクール」を開催しました。本事業では「かこむ」が主催するすべての講座を「学校」という枠組で開催し、東播磨の暮らしを楽しむためのエッセンスとなるような、学びと出会うの機会を提供していく予定です。さらに、「かこむ」の登録会員や利用者からも講座企画を募り、誰もが先生になることのできる「くらしの学校」を目指していきます。

また、登録団体制度「かこむ倶楽部」を登録会員コミュニティ「kaco-LAB.」としてリニューアルさせました。新しい会員区分にクリエイター枠を設け、団体ではない個人も登録できる形に変え、東播磨地域を盛り上げたい団体や個人が参加

し、出会う中でさまざまなコラボレーションや新たな実験的なチャレンジが生まれるラポ的な役割を担っていきたくと考えています。今後も新たな機能を追加していきながら、会員が交流し、一層東播磨地域で活躍していくことができるような仕組みづくりに取り組みしていきます。「東ハリマくらし学校」と「kaco-LAB.」を中心に、東播磨地域に根差した学びと出会いの場をつくり、より多様な人々が集いつながる施設として、生活創造活動の裾野を広げていくことに尽力していきます。

文・大浜伸人（はまっち）

DATA

開館日数	348日
年間来館者数	215,243名
有料施設利用率	71.2%
kaco-LAB. 登録団体	334団体
相談対応件数	51,874件
コーディネート	114件
登録ボランティア総数	58名



かこむ創造フェスタ 2018

毎年開催している登録団体が日頃の活動を「ステージ」「ブース出店」「展示」によってPRする一大イベント。今年度からは地元企業が参加する応援ブースや飲食ブースを用意し、地元企業とも連携しながら団体を盛り上げる新たなイベントの形がスタートしました。

実施日 10月7・8日
参加団体 73団体
来場者数 2411名



パートナー交流会（運営委員会）

運営パートナー（ボランティア）による運営委員会を初めて開催しました。施設の新しいアイデアや改善策を検討し、運営についてスタッフとともに考える機会となりました。今後は運営パートナーからの意見を形にしていく取り組みにつなげていきます。

実施日 1月12日
参加人数 13名



過去最高記録!



かこむ大掃除

利用者、登録団体、運営パートナーとともに、施設の清掃を行いながら交流する大掃除イベントを実施しました。施設そのものにも愛着をもって、「自分たちの施設」と感じてもらえる機会として毎年開催しています。今年度も幅広い世代のみなさんに参加いただきました。



実施日 12月28日
参加人数 20名

東ハリマくらし学校オープンスクール

「東ハリマくらし学校」のイメージを利用者の方々と共有することを目的に、日本仕事百貨のナカムラケンタ氏よりこれからのくらしや働き方を示唆いただいた「基調講演」、模擬授業を体験する「体験クラス」、大規模交流会の「ごちゃまぜ交流会」の3部構成で開催。東ハリマくらし学校に自身はどう関わっていくかを考えていただく機会になりました。

実施日 2月25日
参加人数 158名



「体験クラス」の内容例/

- ・自分好みを見つけよう！コーヒーの味くらべ体験
- ・スマホカメラが楽しくなるフォトレッスン
- ・座りっぱなしヨガで「肩こり&姿勢改善！」など

かこむって？

2008年に誕生した、豊かな生活を創造するための主体的な活動をバックアップする拠点施設です。

兵庫県加古川市加古川町 寺家町天神木 97-1

担当のつぶやき



メインスタッフ…おかちゃん
生活を楽しみ、キラキラ、生き生きとされている方を見て、いつも元気をもらっています！



メインスタッフ…けんけん
音楽スタジオもあってびっく！大学生時代に知っていた…。



メインスタッフ…はまっち
色々な人たちが集まって、毎日ワイワイと楽しい場所です！新しい出会いに感謝！



メインスタッフ…めぐちゃん
皆さんのキラキラ☆しませんか？かこむではいろんな事してるよ！

メインスタッフ…めくちゃん
暮らしがちょっぴり豊かになる「かこむ」であらう！



メインスタッフ…かっつP
皆さんキラキラ☆しませんか？かこむではいろんな事してるよ！きてね、かこむ！



メインスタッフ…えりちゃん
毎日の変化もプラスに変えられる。楽しいを体現しているそんな場所です。



メインスタッフ…みわちゃん
日々癒しと元気をいただいている「かこむ」です。是非ともお越しくださいね！



兵庫県地域創生コースチーム運営事業

若者目線の地域創生企画実施！

2017年から兵庫県地域創生局がスタートさせた「兵庫県地域創生コースチーム」の運営業務に引き続き携わりました。県内の大学に通う学生と、兵庫県・市町の若手行政職員が6つのグループを作り、同世代に兵庫の魅力伝えるための企画を立案し、実際に地域に出て地域創生企画を実践していきました。活動を通じて作成した「観光PR動画」や「地域活動の分析カルテ」などを自治体や地域組織に提供した企画もあり、活動を通じて「若者が考える地域創生企画」の効果が受けられました。

学生と協働した行政職員から

の感想として、「固定概念にこだわらない発想の大切さ」に関する意見が多く聞かれました。また、企画の対象となった地域からも、活性化のヒントをつかむことができました。企画を実施する中で、学生自身が兵庫の魅力を体感し、さらに地域に愛着をもつことにより、今後地域の魅力を発信していく人材へとつながっていくことが期待できます。

文・一川有希(いっちー)



DATA

全参加者数	大学生 33名 行政職員 8名
全体会議	3回
アドバイザー相談会	1回

グループ活動テーマ例

- ・若者による日本酒選定イベントの開催
- ・地域間交流を目的とした「地域活動カルテ」の作成
- ・兵庫県公式Instagramを活用した「兵庫県魅力発信トランプ」の作成
- ・北播磨ファミトリップツアー「秋、行っとこKITAHARIMA」の開催 など

活動報告冊子作成・配布

これまで取り組んできた背景や内容、またその成果を伝えるため、「地域創生コースチーム活動報告冊子」を作成・配布しました。今後、県内での地域創生の取り組みや若者視点での地域づくりの参考事例としてつなげることができました。



メインスタッフ…いっちー

若者のアイデア・想像力は今後の「地域創生」に必要な存在になると実感した1年でした。事務局を通じて多くの学生の成長が感じられました。



メインスタッフ…きがみん

成果が未知数な中で「やりきった」体験をできた学生たちは、今後につながる貴重な時間になったのではと感じています。



シニア世代地域デビュー交流フェスタ運営事業

新たなシニア世代の交流拠点へ

「シニア世代地域デビュー交流フェスタ」では、シニア世代が地域活動や社会に参加することで、充実したセカンドライフを送れるよう支援しています。東播磨地域で活動するサークル団体やボランティア団体の紹介や情報提供、シニア世代向け交流会を企画するなど、シニア世代の地域デビューを支援しています。6年目となる2018年度は、播磨町地域と神野地域の全2箇所新たにサロンを開催し、計17回のシニア交流サロンと「東はりま居場所交流会」を開催、計224名が参加しました。「かこむ」で開催する「シニア交流

DATA

きっかけ交流サロン(播磨)	実施回数 7回 延べ参加者数 59名
いきいきシニア交流サロン(神野)	実施回数 10回 延べ参加者数 150名
東はりま居場所交流会	実施回数 1回 参加者数 15名
シニア交流サロン	実施回数 24回 延べ参加者数 570名

きっかけ交流サロン & いきいきシニア交流サロン

新たに播磨町地域と神野地域でサロンを開催しました。県民交流広場の運営団体や、地域活動団体と協働したことで、地域活動を始めたい参加者が集まる機会となり、地域活動やボランティア活動へとつながっていきました。



サロン」では東播磨地域のみならず神戸市などの遠方からの参加者も増えてきています。一人であることに不安を感じるシニア世代が定期的に集うことにより、地域の中でコミュニケーションが生まれ、地域活動やボランティアへつながるきっかけの場となることを目指してまいります。

文・一川有希(いっちー)



メインスタッフ…チョコちゃん

昨年よりシニア事業に関わらせていただき新たな刺激をもらっています。みなさんのこれまでの経験や知識を活かせる様な場を作りだしていきたいと思います。



メインスタッフ…いっちー

シニアのパワーに圧倒された1年でした!今後も「シニアが元気で地域も元気へ!」を目指してまいります。



かがわ・たかさご活性化プロジェクト

まちなかを面白く。次の展開に向けて

2015年からスタートした加古川の中心市街地活性化に取り組む「かがわ活性化」プロジェクトは4年が経過しました。コミュニティスペース「OO」は、日替わり店長による運営を継続して行い、商店街に新たな人の流れをつくることができました。新たに、加古川市と甲南大学、神戸新聞社との協働事業「知を結ぶプロジェクト」への事業協力を行い、学生をサポートすることで大学生がまちに関わるきっかけを育みました。

これまで、当法人が培った市民のネットワークを活かし、市民によるまちの活性化の取り組みました。今後の事業展開を見据えた企画会議を繰り返すなか、2018年度で既存事業は一旦



終了し、2019年度からは不動産管理と事業開発を行う加古川のまちづくり会社「株式会社加古川暮らしを築くエリア」の発足し、加古川暮らしを築くエリアづくりに取り組めます。

また、BANIBANネットワークス(株)が運営するWEBニュース「加古川経済新聞・高砂経済新聞」、コミュニティスペース「びいぶらす」を、加古川エリア・高砂エリアでサポートに取り組みました。地元企業と連携した活性化事業として、両エリア内での拠点づくりや情報発信、交流促進を促すことができました。

文・阪口 努(つとむん)

DATA

かがわ飲み会議の開催	12回
参加人数	100名
MANABIYA KAKOGAWAの開催	12回
参加人数	100名
知を結ぶプロジェクトへの協力	6回

担当のつぶやき



メインスタッフ…あお いちゃん
地域の方からエネルギーをたくさんいただきました!



メインスタッフ…けんけん
人の良い方ばかりでほっこり。やっぱり人が一番の魅力ですね。



メインスタッフ…つとむん
あそびながら共感しながら。まちを手づくりしよう!



チームブランディングプログラムの提供・団体支援

理念策定プログラムを提供

チームブランディングでは、チームづくりをするチームビルディングと、ブランドづくりをするブランディングを合わせ、チーム力を高めることと方向性を一致させブランド力を高めるべくこの両面から支援するプログラムを提供しています。

今年度、ビジョン・ミッション策定プログラムは、計4団体に実施し、各団体のニーズ、メンバー数、背景等に合わせた柔軟にプログラム内容を変え、各団体に合った理念が完成しました。各団体、WEBサイトやリーフレットなど、新しい理念を元に向けた発信もスタート。団体として伝えたい言葉が整理され、メンバーの結束力が高まるなど、

理念構築による効果が見え始めています。

また、より多くの団体にブランディングを知ってもらうことを目的に、「伝わる! NPO 大合宿」を開催しました。団体だけでなく、デザイナー等の参加もあり、合宿形式にしたことで、密な交流と深い学びにつながりました。継続を希望する声が多数あり、今後もNPOの広報やブランディング、デザインに関心のあるNPOの広報担当やデザイナーでつくるコミュニティとして発展させていきたいと思います。

文・柏木輝恵(きえちゃん)

ビジョン・ミッション策定プログラム今年度実績

V=ビジョン、M=ミッションの略

NPO 法人あおぞら

V: すべての命が大切にされ、その人らしく生きられる社会
M: 命をすくい、涙をとめ、笑顔をつくる

NPO 法人にしよどにごネット

V: 大人も子どもも育ち合い、
誰もが誰かのサポーターになれるまちに
M: 日々の子育てに寄りそい、わかちあえる関係をつくる

NPO 法人ファザーリング・ジャパン関西

V: みんなが子育てをおもしろがる社会
M: 父親の子育てを遊ぶようにおもしろくする

兵庫県青少年団体連絡協議会

V: すべての青少年が心も身体も健康に育つ兵庫
M: 兵庫県の青少年活動の推進に寄与する

DATA

チームブランディングプログラム提供	9団体
伝わる! NPO 大合宿の開催	1回 29名
伝え方相談会	4回 16件
WEBライティング講座	2回延 30名
想いを伝える言葉にするワークブック販売	117冊

担当のつぶやき



サポータースタッフ…じゅんじゅん
相談に来ていただいた団体と一緒にステップアップできることは他に覚えられない喜びです!



メインスタッフ…きえちゃん
団体の中にある想いを聴かせていただき、一緒に言葉にしていく過程はとてもやりがいがあり、どの団体も思い入れのある理念になりました。



法人運営



ひょうご市民活動団体協議会 (HYOGON) 事務局

全スタッフ集まる会議と研修

第3 Sunday 大集合♪



毎月第3日曜日はスタッフが集まり、会議や研修を行います。

合計 10回

法人運営

事業を再編集し成果を高める

年に1度開催している通称「たのCAM」(たのしいをつくるCAM)の略)は、忙しい現場を離れ、全正職員と経営メンバーが膝を付き合わせ、シミズシーズのこれからを考える1泊2日の集中合宿です。入社10年のスタッフから1年目やまだ正式入社前のスタッフまで、全員がフラットに議論し、団体の活動意義を見直し、次年度力をいれるべき点やどのような体制で取り組むのかと行った次年度の計画に落とし込んでいきます。このプロセスを経ることで、上から降ろされた計画をただ遂行するのではなく、考え方や背景が共有され、主眼的に事業に取り組むための基礎がつけられていきます。

今回の合宿では、対話を進め

市民社会のこれらを語り合う一年

2018年度はNPO法が施行されて20年という大きな節目の1年でした。HYOGONとしても会員中心に実行委員会を結成し当法人が事務局を担い、「NPO法20年全県フォーラム」を開催しました。

フォーラムのテーマは、「ひょうごの市民社会の20年とこれから」。第一部では兵庫のこれまでの20年を振り返るとともに、これからの20年で現代社会が抱える課題について講師の松原明氏に講演をいただきました。第二部の分科会では関西で活躍して来られた方々から事例紹介をふまえながらの意見交換を行い、第三部ではまとめとして、分科

DATA

NPO法20年全県フォーラム	126名
ひょうごNPO塾	
--- ファンドレイジングと業務効率化	8名
--- 自団体の評価軸をつくる	19名
チラシ合同発送プロジェクト	9団体
HYOGON ソーシャルカフェ	17名
新年賀詞交歓会	128名
HYOGON 流交流会 MEET UP!	
--- CorderDojo 西宮	6名
--- NPO法人ひと・まち・あーと	11名
--- 公益財団法人 PHD 協会	5名

会の共有と今後の20年で必要なことを考えることができました。これからのNPO・NGOが果たすべき役割について県内で活動する様々な方々と共有することができました。

通常のHYOGONの運営に加えて、全県フォーラムを進めたことから、事務局としては大変忙しかった1年でしたが、兵庫県の行政・企業・NPOなど様々なセクターが集まり新たなつながりを作ることには貢献できたことは大きな成果だったと考えています。

文・津久井あゆみ(つくしちゃん)

年中で「各事業が縦割りとなってしまう相乗効果を生み出せていない・関係性が見えていない」ことが課題として浮かび上がってきました。事業単位で相互関係を整理しようとする複雑になりすぎるため、シンプルな構造がないか探求しました。その結果「学び・出会い・挑戦」の3つの要素が相互に関係しスパイラルのように上昇する『シミンのジリツ』を支援する成長循環モデル』という考え方に意見が集約していきました。

「学ぶことで挑戦できることが増える」「挑戦する先に出会いがある」「出会いがあることで学びがある」。

はじめての場に参加していただくことも「挑戦」の一つ。そこで新たな「出会い」があり、今まで出会わなかったような価値感にふれ、自分の世界が広がる「学び」がある。一人ひとりの人生や、団体活動のどんなステージにおいてもこの「学び・出会い・挑戦」が成長のきっかけを与えてくれます。私たちは改めてこの3つの機会を提供していることを再認識し、事業単体で考えるのではなく、相互循環を起すためには何ができるか?を常に問い続け、目指すビジョンへ一歩ずつ近づいていきたいと思います。

文・小笹雄一郎(おざりん)

担当のつぶやき



メインスタッフ...よっしー

スタッフからいろいろな事業の話聞きながら、社会の変化を感じ視点を広げた1年でした。



メインスタッフ...しげるちゃん

個性豊かなスタッフと仕事するのがめっちゃオモイですわ^^



メインスタッフ...おざりん

多様なメンバーと働ける環境をありがとうございます!

おざりん

一人一人が強みを発掘しこれからもつくり続けていきます!



メインスタッフ...ときちゃん

NPO法20周年全県フォーラムを運営委員会方式で実施!繋がりの力を感じました!



メインスタッフ...つくしちゃん

県内外で活躍される皆さんの社会に対する熱い思いを感じるのだった下半期でした!

2018年度講師・委員等派遣一覧

田中 茂	明石市コミュニティ推進課	審査員	明石市バックアップ補助金審査
柏木登起	兵庫県企画県民部地域振興課 神戸市 兵庫県社会福祉協議会 佐用町企画防災課まちづくり企画室 兵庫県淡路県民局県民交流室 兵庫県 神戸市 神戸市保健福祉局 NPO 法人 SEIN 兵庫県丹波県民局 兵庫県企画県民部県民生活局県民生活課 兵庫県健康福祉部社会福祉局社会福祉課 公益財団法人ひょうごコミュニティ財団 与布土地域自治協議会 兵庫県企画県民部地域振興課 大阪府市民局政支援室地域力担当地域支援グループ 株式会社地域計画建築研究所大阪事務所 神戸市兵庫区社会福祉協議会 社会福祉法人大阪ボランティア協会 川西市市民活動センター 富合地区ふるさと創造会議 神戸市保健福祉局 丹波市 公益財団法人ひょうごコミュニティ財団 公益財団法人トヨタ財団 NPO 法人ひとまちあーと 加西市観光まちづくり協会 兵庫県但馬県民局地域政策室	委員 委員 委員 アドバイザー 委員 委員 委員 講師 アドバイザー ファシリテーター 委員 委員 アドバイザー ファシリテーター 審査員 講師 講師 パネリスト 講師 ファシリテーター 委員 講師 委員 その他 講師 講師 アドバイザー	地域再生アドバイザー会議 神戸市民福祉振興財団経営ビジョン会議 地域福祉政策研究会 佐用町地域づくり協議会あり方検討委員会委員 地域再生大作戦 10 周年記念冊子取材 兵庫県地域福祉計画策定作業部会 神戸市民福祉調査委員会小委員会 しあわせの村・温泉健康センターあり方検討会 いずみ市民大学「シミンのジリツと地域でできること」 交流実践リーダー育成講座 2018 参画協働フォーラム 兵庫県地域福祉計画策定作業部会委員 有園博士基金企画委員会 会議出席及びアドバイス、ワークショップ進行 ひょうごの元気ムラ大交流会（研修会） CSO アワード 2018 大阪市長賞選考委員 丹波市市民活動中間支援人材研修プログラム講座及びアドバイザーグループ委員 グループ向け Facebook 活用広報講座 初級・中級編 NPO 法 20 周年・新公益法人制度 10 周年の関西学習会 活動に不可欠な人財のこと ももこの 11 タウンミーティング 平成 30 年度第 2 回神戸市市民福祉調査委員会 たんば職員チャレンジ・プログラム「市民と行政の協働」 輝け加古川みらい基金 2019 年度選考委員会 トヨタ財団 JOINT30 号インタビュー「山岡義典さんと語る」 たつの市市民活動セミナー 加西まち活ゆめ広場「地域で活動する市民の育て方探し方」 平成 30 年度地域再生プロジェクトチーム会議
柏木登起・木上裕貴	三田市文化スポーツ課	講師	平成 30 年度さんだ生涯学習カレッジ研究科「地域活動コース」
木上裕貴	兵庫県立加古川南高等学校 PTA 公益財団法人兵庫県生きがい創造協会	講師 講師	コミュニケーション研修 いなみ野学園「コミュニケーション論」
阪口 努	ふるさと創生塾 22 期生ひょうごファンクラブ (公財) 兵庫県生きがい創造協会	ファシリテーター 講師	地域の人を魅力溢れる伝道師に NPO と地域コミュニティ支援
柏木輝恵	認定 NPO 法人市民活動センター神戸 個人 リビンス株式会社 NPO 法人フルーツバスケット 稲美町生涯学習課 NPO 法人アエソン 東播磨青少年本部 株式会社地域計画建築研究所大阪事務所 NPO 法人ブラッツ 一般社団法人兵庫県社会福祉士東播地区ブロック BN I メリケンチャプター	講師 ファシリテーター ファシリテーター 講師 講師 講師 講師 講師 講師 講師 講師 ファシリテーター	イラストレーターの使用方 WEB サイトリニューアルに向けた方向性検討ワークショップ 決起大会「これからのリビンスを考える」 元保育士・保育士資格をもつ人のための未来をひらくキャリアデザイン NPO 広報 はじめの一步 ―共感が集まる『伝え方』のコツ― ママの困った！にこたえる講座「自分だから、自信をもってサポートできる！」 第 15 期こころ豊かな人づくり 500 人委員育成事業東播磨地域セミナー 丹波市市民活動中間支援人材研修プログラム講座 第 4 回 NPO スタッフスキルアップセミナー「使える事業報告書～考え方と作り方のコツ」 自主企画研修会「地域に事業所のファンをつくる。一歩前へ！アクションを起こそう！」 会員交流会「GIVE 目標を立てるワークショップ」
津久井あゆみ	NPO 法人しゅらく	ゲスト	ソーシャルキャンパス生き方相談市

シーズ機関紙「たのたね」

社会の変化や当法人の活動内容を伝えるために、年 3 回機関紙を発刊しました。

- vol.16 これからのたのしい “メディア”
- vol.17 これからのたのしい “公共施設”
- vol.18 これからのたのしい “組織”



機関紙を読みたい方！
スタッフにお尋ねください。

総会

第 16 期通常総会の開催

- 出席者数：正会員総数 38 中 34 名（うち委任状出席者 22 名）
日 時：6 月 17 日（日）15 時 00 分～16 時 30 分
場 所：法人事務所
審議事項：2017 年度（第 16 期）事業報告の件
2017 年度（第 16 期）決算報告の件、役員変更の件
報告事項：2018 年度（第 17 期）事業計画について
2018 年度（第 17 期）事業予算について



理事会

- | | | |
|--------|-----------|-------------------------------|
| 第 1 回 | 5 月 23 日 | 職員体制と総会議案の確認 |
| 第 2 回 | 8 月 27 日 | 事業の進捗状況の共有と今後の事業戦略について意見交換 |
| 第 3 回 | 10 月 1 日 | 加古川プロジェクトの現状共有と意見交換 |
| 第 4 回 | 10 月 18 日 | 加古川プロジェクトの事業企画案の共有と意見交換 |
| 第 5 回 | 11 月 6 日 | 加古川プロジェクトの事業企画案の進捗共有 |
| 第 6 回 | 12 月 5 日 | 2019 年度の事業方針について |
| 第 7 回 | 12 月 19 日 | 加古川プロジェクトとシーズの今後について |
| 第 8 回 | 1 月 30 日 | 2019 年度の方針の共有と予算の確認 |
| 第 9 回 | 3 月 11 日 | 2019 年度からの動きと 2018 年度決算見込みの共有 |
| 第 10 回 | 4 月 2 日 | 2019 年度予算と計画の承認、加古川プロジェクトの共有 |

2018年度のお礼

2018年度もたくさんのご支援、ご協力をありがとうございました。みなさまの支えのおかげで、無事に次年度を迎えることができました。

NPO法が施行されて20年が経ち、この間の総括と次の展開を考える各種フォーラムが全国で開催されました。NPOに求められるものを社会的な価値を創造することと具体的に事業を遂行することに大別して、後者である事業遂行力はついたものの前者である社会的価値の創造力については十分とは言えず、このあたりが今後の課題とする意見が多く出されました。

この意見は当法人にも当てはまります。設立以来「シミンの自律と自立」をサポートしながら様々な事業を展開してきました。どの事業に対してもシミンズシーズらしさにこだわり、事業を通じて常に新しい価値を提案してきてはいますが、社会の構造を変えるほどのインパクトを与えるまでには至っていません。一朝一夕にできるものではありませんので、自らのやりたいことを妥協せず追いかけていく姿勢を大切に、今後も社会課題に向き合っていきたいと思っています。

他方で、ここ数年法人内で議論していることに「組織のあり方」があります。これまでの企業社会によく見られたストック型(=資本、人材、ノウハウなどを企業内で保有することで競争に打ち勝っていく考え方)ではなく、これからの社会の変化に対応してプラットフォーム型・ネットワーク型(=所有することによるコスト高リスクを回避し、テーマに共感しあえる人材によるプロジェクト志向の考え方)がNPOの運営には適しているのではないかと議論です。

これらの2つの論点を踏まえて、より社会的価値を創造できる組織を目指して、プラットフォーム型・ネットワーク型の組織形態への移行を加速させたいと考えています。これは、社会的な価値を提案するためのソフトを考える機能とそのイズムを中心に据えて具体的に事業を展開する機能を組織的に使い分け、双方を併せ持つグループ組織としての運営を目指そうというものです。

その一環として、2019年2月に加古川のまちづくりにて特化した事業を行う組織として(株)加古川まちづくり舎を立ち上げました。2019年度に準備、2020年度から加古川まちづくり舎とシミンズシーズの連携した新しい事業を計画中です。

加古川におけるまちづくりの大きな活動の本格始動は2020年度からとなりますが、NPOと株式会社の双方の持つ資源を効果的に活用していきたいと考えています。

2018年度はいよいよ動き出す2019年度からの組織運営について、新たな一歩を踏み出した1年だと総括できます。

新しい時代がどのように変化していくのかを的確に読むことは困難ですが、常に志を高く掲げながら社会的な価値を提案し、具体的に実践できる組織体を目指していきます。変わらぬご支援とたゆまぬ議論をお願いします。

代表理事
田中 茂



活動計算書(簡易版) 2018年4月1日から2019年3月31日まで

(円)

科目	2018年度実績	2017年度実績	増減
受取会費	326,000	323,000	3,000
受取寄付金	348,359	1,057,931	-709,572
受取助成金等	1,000,000	1,270,000	-270,000
事業収益			
(1) 個人のジリツ支援	65,216	125,184	-59,968
(2) 市民のジリツ支援	39,768,380	38,429,735	1,338,645
(3) 地域のジリツ支援	4,458,240	17,756,100	-13,297,860
(4) 団体のジリツ支援	4,320,281	3,932,217	388,064
(5) 全てのジリツ支援	1,732,985	890,048	842,937
事業収益計	50,345,102	61,133,284	-10,788,182
その他収益計	6,067	36,007	-29,940
A 経常収益計	52,025,528	63,820,222	-11,794,694
事業費			
(1) 人件費	32,972,938	44,428,712	-11,455,774
(2) その他経費	12,284,329	11,719,895	564,434
事業費計	45,257,267	56,148,607	-10,891,340
管理費			
(1) 人件費	2,090,913	2,846,534	-755,621
(2) その他経費	1,938,412	2,487,178	-548,766
管理費計	4,029,325	5,333,712	-1,304,387
B 経常費用計	49,286,592	61,482,319	-12,195,727
E 当期経常増減額(A+B)	2,738,936	2,337,903	401,033
経常外増減額			
過年度損益修正益	315	0	315
C 経常外収益計	315	0	315
過年度損益修正損	1,749	1	1,748
D 経常外費用計	1,749	1	1,748
F 当期経常外増減額(C-D)	-1,434	-1	-1,433
正味財産増減			
G 税引前当期正味財産増減額(E+F)	2,737,502	2,337,902	399,600
H 法人税、住民税及び事業税	535,400	277,100	258,300
当期正味財産増減額(G-H)	2,202,102	2,060,802	141,300
前期繰越正味財産額	28,946,008	26,885,206	2,060,802
次期繰越正味財産額	31,148,110	28,946,008	2,202,102

貸借対照表(簡易版) 2019年3月31日現在

(円)

科目	2017年度実績	科目	2017年度実績
1 流動資産		1 流動負債	
小口現金	702,218	未払金	5,871,924
普通預金	18,885,525	未払法人税等	535,400
定期預金	14,013,129	前受金	2,848,700
未収金	6,539,713	預り金	534,368
前払金	174,064	仮受金	2,511
流動資産合計	40,314,649	流動負債合計	9,792,903
2 固定資産		2 固定負債	
車両運搬具	1	固定負債合計	0
什器備品	148,392	負債合計	9,792,903
リサイクル預託金	9,200		
長期前払費用	468,771	正味財産期首残高	28,946,008
固定資産合計	626,364	当期正味財産増減額	2,202,102
資産合計	40,941,013	正味財産合計	31,148,110
		負債及び正味財産合計	40,941,013

2019年度事業計画

1 個人のジリツを支援する人材育成事業

東播磨地域の大学や高校、中学校等に、参加型やキャリアデザインの授業、インターンシップなどのプログラム提供を行います。

学校への参加型プログラムの提供事業
ボランティアやインターンシップの受入

2 市民のジリツを支援するプロデュース/ネットワーキング事業

東播磨生活創造センター「かこむ」の指定管理運営が4期2年目を迎えます。4期目に掲げた「東はりま暮らしを楽しむ人を増やす」を実現するために「東ハリマくらし学校」をスタートし、BAN-BAN ネットワークス（株）との共同運営をステップアップします。また、企業の登録制度を設置し、コーディネートを強化することで地元企業との連携を図ります。シニアの地域活動拠点づくりも継続して実施します。播磨地域、加古川地域、及び高砂地域での自主運営をサポートし、シニアが身近な場所で活躍できる環境づくりに取り組みます。

東播磨生活創造センター「かこむ」指定管理運営
シニア世代“地域デビュー”支援プラザ運営
企業等へのコーディネート

3 地域のジリツを支援するコミュニティ創造事業

地元メディアとBAN-BAN ネットワークス（株）が取り組む、WEB ニュース「加古川経済新聞・高砂経済新聞」での情報発信や、コミュニティスペース「びいぶらす加古川・びいぶらす高砂」の運営をサポートし、地域活動を支援します。2019年度は拠点「かこむ」と連動することで地域へのネットワーク拡大と、地域内の相乗効果を意識した事業展開に取り組みます。 ※2018年度まで実施してきた加古川中心市街地活性化に取り組んできた「加古川まちづくり舎」は、2019年2月に「株式会社加古川まちづくり舎」として組織改編しました。事業としてまちづくりに取り組むため、主に不動産管理と事業開発によって、加古川の暮らしを楽しむエリアづくりに取り組みます。

かこがわ活性化プロジェクト事業
たかさご活性化プロジェクト事業

4 団体のジリツを支援するNPO等支援事業

兵庫県、東播磨で活動するNPO団体への相談・コーディネートやNPOや団体、企業などへ「チームブランディングプログラムの提供、アドバイザー・顧問派遣、コンサルティング業務を継続して取り組みます。ひょうごコミュニティ財団が運営する「加古川みらい基金」と連携した、加古川の地域課題に取り組む活動への支援や、兵庫のボランティアセクターのネットワーク事務局も継続します。

チームブランディングプログラム提供事業
NPO・企業支援事業
ひょうご市民活動協議会事務局事業

5 すべてのジリツを支援する環境整備事業

これまで駅前寺家町商店街内の「00」を閉鎖し、新たに、加古川のまちの拠点となる「加古川かわのまち保育園計画」に取り組みます。保育園という日常の拠点を整備することに加えて、これまで連携してきた、地元企業との関係性を深め、企業の働く環境づくりや、CSR活動などのネットワークを広げていきます。シミンズシーズの取り組みから、社会の「楽しいのタネ」を広げていきます。

加古川かわのまち保育園事業
講師・委員等派遣事業

2019年度役員

代表理事	田中 茂	柏木登起		
副代表理事	畑本康介	破魔淳司	常務理事	阪口 努
理事	柏木輝恵 春下充代	木上裕貴	佐伯亮太	立岩成晃
監事	高橋 逸	藤岡秀英		
顧問	落合英樹 中村義弘	高田良彦 船本博一	田代恭也 堀田照夫	嶋谷拓雄

2019年6月16日 現在